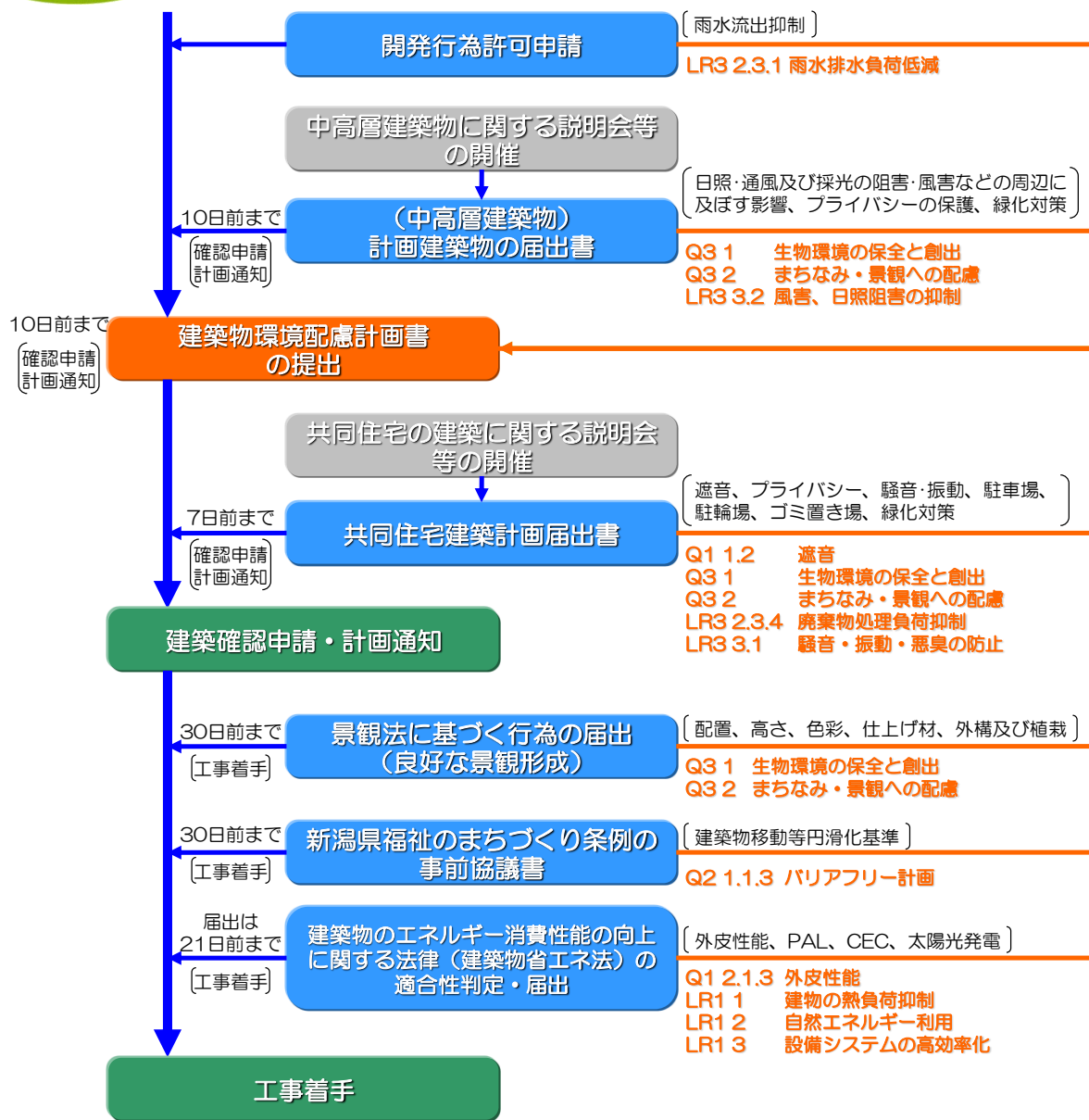


CASBEE新潟の届出と各種届出の関係



建築物の工事着手までには、CASBEE新潟を含めて、各種の届出が必要となる場合があります。
CASBEE新潟は、環境性能を総合的に評価するため、CASBEE新潟で検討した配慮項目は、他の届出でも利用することができます。



※ 上記の各種届出は、CASBEE新潟と関連が深いものです。

※ 各種届出の問合せ先

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 開発行為許可申請 | ……各区建設課 |
| (中高層建築物)計画建築物の届出書 | ……新潟市建築部建築行政課 |
| 共同住宅建築計画届出書 | ……新潟市建築部建築行政課 |
| 景観法に基づく行為の届出(良好な景観形成) | ……新潟市建築部都市計画課 |
| 新潟県福祉のまちづくり条例の事前協議書 | ……新潟市建築部建築行政課 |
| 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(建築物省エネ法) | ……新潟市建築部建築行政課 |

◆問合せ先

「CASBEE新潟」の使用方法を含めたマニュアル・提出書類の様式等は、ホームページからダウンロードできます。

新潟市 建築行政課 建築審査係 TEL 025-228-1000 (内線32849/32850)

新潟市中央区学校町通一番町602番地1

<http://www.city.niigata.jp/info/kenchiku/tetsuduki/todoke/casbee/casbeeniigata.htm>

CASBEE®新潟

～新潟市建築環境総合性能評価制度～

新潟市建築環境総合性能評価制度は、建築主が自主的な配慮により、新潟市の気候・風土を活かしながら、環境を守り、成熟社会にふさわしい魅力的で良質な建築物の整備を促し、市民が安全で安心して暮らせる都市環境の確保、持続可能な社会の構築、地球環境の保全に寄与することを目的とします。

当制度は、新築・増築・改築する床面積の合計が2,000㎡以上の建築物を建築する際に、建築主が環境性能を自己評価し、その結果を市に届け出る制度です。評価結果は市のホームページなどで公表します。

市民の皆様が、建築物の性能を分かりやすい指標で知ることができます。また、環境に配慮した建築物を誘導する基盤が整備されることで、質の高い建築物のストックが増え、魅力的な新潟市のまちなみが形成されます。

本制度は、平成22年4月1日から始まりました。



「キャスリップちゃん」

CASBEE新潟の「キャス」と新潟市の花 チューリップの「リップ」から名づけました。CASBEE新潟のイメージキャラクターのキャスリップちゃんと一緒によい建物をつくっていきましょう。

新潟市

CASBEE(キャスビー)とは？



建築環境総合性能評価システムのことです

Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency

財団法人 建築環境・省エネルギー機構が国土交通省支援のもと開発した評価ツール

BEE =
(建築環境性能効率)

環境品質 (Q:Quality 建物の内部等の環境品質の向上に係る取組み)

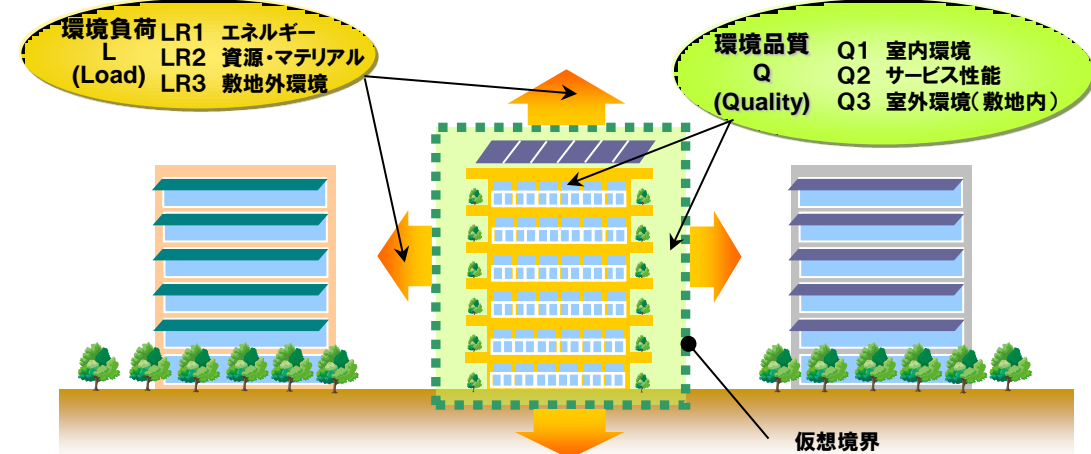
環境負荷 (L:Load 周辺や地球に対する環境負荷を低減する取組み)

BEE(建築環境性能効率)から評価し、最終的に以下の5つのランクで評価します。

Sランク(大変優れている) Aランク(大変良い) B+ランク(良い) B-ランク(やや劣っている) Cランク(劣っている)

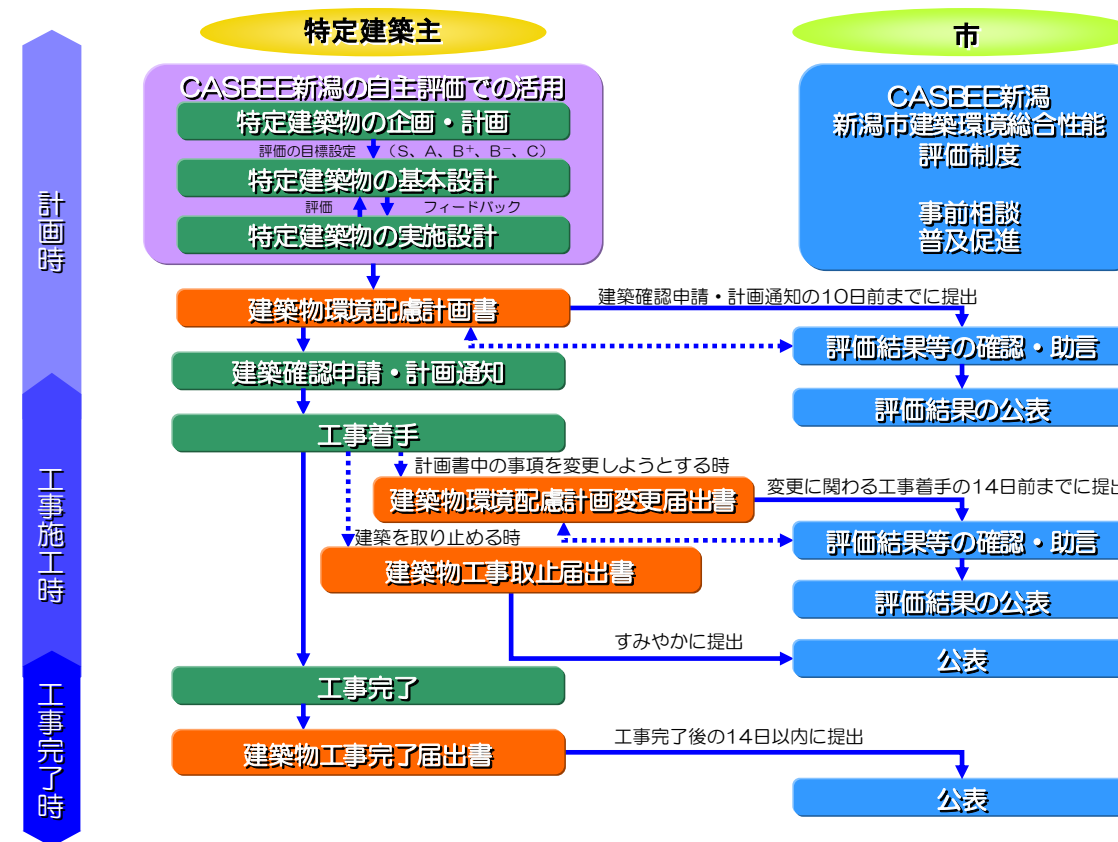
環境負荷の値を小さく！

環境品質の値を大きく！



CASBEE新潟の活用と手続きの流れ

CASBEE新潟は、建築物環境配慮計画書を確認申請または計画通知の10日前までに提出することとしています。設計が完了したのについて評価するだけでなく、設計を進める中で、段階ごとに評価をし、客観的な指標を得て設計内容に反映させるツールとして活用することを目的としています。



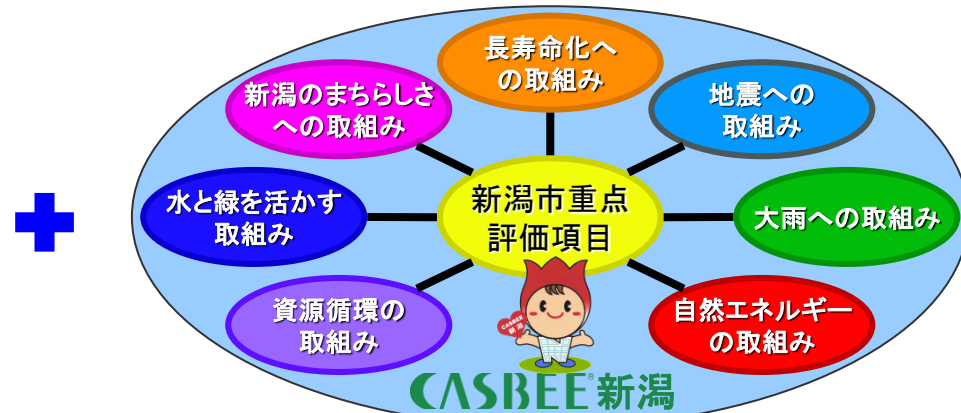
CASBEE新潟は、

CASBEE新潟の評価は、基本的にはCASBEE-新築(簡易版)による評価によりますが、新潟市の環境政策等を踏まえて、独自の採点基準を設けております。また、新潟市が特に配慮していただく項目として定めた、「新潟市重点評価項目」への取り組みを評価するシステムです。「新潟市重点評価項目」は項目ごとに5段階で評価されます。評価結果は公表します。

CASBEE新潟



5段階評価



CASBEE新潟による評価結果を市ホームページなどで公表します。

新潟市重点評価項目

1. 長寿命化の取組み

誰もがずっと安心して生活していくためには、バリアフリーであること、日常の手入れがしやすいこと、使い手や使い方が変わったときの更新がしやすいことが求められます。

- ・バリアフリー計画(Q2.1.1.3)
- ・維持管理(Q2.1.3)
- ・設備の更新性(Q2.3.3)

2. 地震への取組み

建築物の地震に対する備えは、十分すぎるということはありません。かけがえのない人命、財産、思い出を守る建築物の整備は、安全・安心な暮らしの確保にとっても重要なことです。

- ・耐震・免震(Q2.2.1)
- ・信頼性(Q2.2.4)

3. 大雨への取組み

新潟市の市街地とその周辺地域は、海面より低い地域、いわゆるゼロメートル地帯が広がっており、水の災害を受けやすい地域です。敷地からの雨水流出の抑制を行わない、公共下水道への負荷を小さくすることは、災害に強いまちづくりにつながります。

- ・雨水排水負荷低減(LR3.2.3.1)

4. 自然エネルギーの取組み

新潟市の年平均気温の上昇率は1980年頃から大きくなっています。田園型政令市として地球温暖化対策実行計画を進めており、建築物においては、断熱性能の向上・日射調整機能の向上、及び、自然エネルギーの活用に取り組むことは大切です。

- ・建物の熱負荷抑制(LR1.1)
- ・自然エネルギー利用(LR1.2)

5. 資源循環の取組み

持続可能な資源循環型社会づくりには、ごみの発生抑制、資源の再使用、再生利用の取組みを進めます。水も大切な資源だという意識が重要です。

- ・節水(LR2.1.1)
- ・非構造材料におけるリサイクル材の使用(LR2.2.4)
- ・部材の再利用可能性向上への取組み(LR2.2.6)

6. 水と緑を活かす取組み

新潟市は、豊かな水と肥沃な土に育まれた田園の水辺空間があります。多様な動植物が豊かに生命を育む環境づくりを行い、後世に引き継いでいくよう努めるとともに、水と緑を住環境の向上にも活かしていきましょう。

- ・生物環境の保全と創出(Q3.1)
- ・敷地内温熱環境の向上(Q3.3.2)

7. 新潟のまちなみへの取組み

新潟市の各地域で培ってきた魅力や「たから」を理解して、建築物に活かしていくことにより、多くの市民に楽しんでいただくと共に、国内・外に発信できるような魅力を創造することができます。

- ・まちなみ・景観への配慮(Q3.2)
- ・地域性への配慮、快適性の向上(Q3.3.1)